

WOOD FRIENDS
DESIGN FOR THE EARTH

第26期事業報告書

平成19年6月1日から平成20年5月31日まで

株式会社 **ウッドフレンズ**

Contents

株主の皆様へ.....	2
Topics.....	3
事業のご紹介.....	5
営業の概況.....	6
セグメント別業績の概況.....	7
連結財務ハイライト.....	8
連結決算の概要.....	9
個別決算の概要.....	11
株式の状況.....	13
会社の概要.....	14

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社第26期(平成19年6月1日から平成20年5月31日まで)の事業概況についてご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社はジャスダック上場以来、不動産分野における「事業ポートフォリオの形成」を目指してまいりました。不動産事業の安定的発展には、情報・資金・企画ノウハウ等における総合力とバランスが必要であると考え、時間をかけて人材育成とノウハウ蓄積、変化対応できる柔軟な社内システム等をつくってまいりましたが、その成果が徐々に実を結び、結果として3期連続して業績を伸ばすことができました。特に、名古屋を中心とした都市開発事業、中古不動産再生事業、PFI事業が収益化したことは、当社における未来を明るくさせる自信となりました。基幹事業であります住宅事業においては、国内需要に依存する企業全般と同様に「モノが売れない」という逆風傾向が強まっており、市場は競争が激化しておりますが、第26期は金融危機・少子化・資源高・所得低迷といった逆風要因に押されることなく、商品・サービス・企業の品質を高めることで、消費者の支持を受けて売上高や売上戸数を伸ばすことが出来ました。今後ますます経営環境が厳しくなることが予想されますが、住宅事業においては「選択と集中」をさらに加速させ、鋭い商品を市場に提供することで、これからも地域における「住文化」に貢献できると確信しております。

当社は第27期よりコンセプトフレーズとして、「DESIGN FOR THE EARTH」を掲げております。消費者・社会から必要とされる企業というだけでなく、地球環境にやさしい街づくりを目指し、地域の生活文化に深く関わることで地域を活性させる企業となるよう、事業展開を図っていく所存です。具体的には、短期的経済状況や不動産市況に左右されることなく、地道な商品開発ならびに非不動産を含めた事業開発を進め、独自領域を切り開いていきたいと考えております。

株主の皆様に対しましても、経済的還元だけでなく、当社への投資を通じて間接的な社会貢献が実感できる、またそれを「喜び」と感じていただける、このような企業でありたいと考えております。そして、当社は、消費者・国・株主・会社・社員・協力業者・経営者全てに対して真摯で公平な行動基準を持ち、長期的な信頼を得られるよう経営努力をしております。どうか引き続き変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成20年8月
代表取締役 前田 和彦

納屋橋プロジェクト 始動

平成20年4月、名古屋市主催する「納屋橋南地区市有地整備活用提案募集」競技において、当社が最優秀提案事業者に選定されました。現在、平成21年春の開業に向け、事業化を進めています。事業用地は約120坪。名古屋のメインストリートである広小路通りと、市街を南北に流れる堀川が交差する「納屋橋」のたもとにあり、地域のランドマーク的な立地となります。

今後15年間、当社が名古屋市から事業用地を借り受け、商業施設の建設と運営を担います。具体的には「新たな名古屋のまちなか観光スポット」というコンセプトのもと、物販店舗、ギャラリーや飲食店舗の複合商業施設を計画しています。当社は、納屋橋プロジェクトを通じて、地域文化に根ざした魅力ある都市空間と賑わいの創出に努めるとともに、都市事業を不動産開発からプロパティ・マネジメントへと広げる足掛かりにしたいと考えています。



納屋橋プロジェクト(名古屋市中区)計画中



栄4丁目プロジェクト
(名古屋市中区)建設中

栄4丁目プロジェクト 進行中

名古屋の中心地、賑わいある栄地区に、地上11階建てのオフィスビルを提案する栄4丁目プロジェクト。建物は平成20年4月に着工し、平成21年6月の竣工を目指して、順調に建設を進めています。

当プロジェクトの特徴は、オフィスビルとしては希少な免震工法の採用に加え、名古屋のメインストリートである広小路通りに面する広い間口を活かしたフロアレイアウト、ワンフロア200坪以上の大規模オフィススペース、基準階2.8mの高い天井高、名古屋市による建築物総合環境性能評価システム「CASBEE名古屋」での格付けAランク(大変良い)の達成や広い屋上庭園による緑化など、安全、快適、環境性能の高いオフィスビルとなっています。

長く愛され、活用される「都市の資産」となることを目指し、鋭意取り組んでまいります。

愛知県森林公園ゴルフ場 運営状況

当グループの森林公園ゴルフ場運営株式会社は「ナチュラルスポーツゴルフ」をコンセプトに、平成19年4月より、愛知県森林公園ゴルフ場の運営を行っています。初年度の営業状況は順調に推移し、計画を上回る10万6千人を超えるお客様にご来場いただきました。

県民の大切な資産であり、歴史あるゴルフコースの価値をさらに高める取組みとして、女性やシニアゴルファーに配慮したティーグラウンドの増設、

地域の皆様が活用できる多目的広場の設置など、積極的な施設環境整備を継続しています。

また、環境マネジメントシステム規格ISO14001の認証取得に向けた活動を開始。生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の2010年 愛知・名古屋での開催を控え、「里山と共生したゴルフ場」の実現を目指し、地球環境に配慮した取組みも進めています。

今後も、愛知県初のPFI事業者として「20年間の安定経営」「資産価値を最大化」「県と県民への還元」を念頭に、サービスの向上に努め、収益性の高いゴルフ場運営を推進するとともに、地域の生活文化形成に貢献していきたいと考えます。



愛知県森林公園ゴルフ場



新築戸建住宅の街並みイメージ図

子会社 住空間研究所 設立

環境問題や少子高齢化への対応など、これからの住宅市場での事業展開では、品質・性能・意匠面などにおいて、魅力的な商品の迅速な提案が重要になっています。

そのような時代の流れの中で、平成20年5月に株式会社住空間研究所を設立。主力商品である新築戸建住宅の設計機能を分社化しました。これにより、設計における専門性と文化発信性を磨くとともに、住宅市場の変化への対応性を高める組織化を進め、一層の商品力強化を実現し、当グループの企業価値の向上を図っていきます。

また、将来的には、戸建住宅だけでなく、オフィスや商業施設など、非住宅分野の設計を行なうことを視野に入れるとともに、当グループ内に限定することなく営業活動を展開し、当グループの収益拡大にも寄与する活動を行う予定です。

事業のご紹介

住宅事業

ウッドフレンズの原点であり、基幹事業である住宅事業。自然素材や手づくりの持ち味を美的に取り入れた感性豊かな住まい。環境・安全・健康・快適などの基本性能にも磨きをかけ、WOOD FRIENDS STYLEを追求しています。

戸建住宅事業

感性とライフスタイルを大切に都市の住空間を提案する。デザイナーの感覚を合理的な生産システムに融合することで、豊かな雰囲気と安定した品質を両立しています。分譲住宅・建築条件付土地分譲・注文住宅などの商品を揃え、これからも、プロがしつらえる家、そして街づくりに取り組んでいきます。



押沢台の家(愛知県春日井市)

中古不動産再生事業

WOOD FRIENDS STYLEで中古マンションや中古戸建住宅をリスタイル。新築にはない価値を生み、市場に提案しています。地球にやさしいストック型社会への流れの中、今後もウッドフレンズグループが取り組むリノベーション事業の一環として、積極的に事業機会の創造を図っていきます。

都市事業

知的ディベロッパーを目指すウッドフレンズ変革の要であり、戦略事業である都市事業。テーマを持ち、地域や社会に向けて輝くメッセージを発信できる不動産開発を目指し、時代感覚をとらえた商品とサービスを、独自のアプローチで生み出していきたいと考えます。



栄4丁目プロジェクト
(名古屋市中区)建設中

都市開発事業

時代を超え都市で利用されるもの、残されていくものを価値基準として、住宅事業で培ってきたノウハウをベースに、投資の観点から収益不動産の開発事業を推進しています。具体的には、マンションや商業テナントビル、オフィスビルの新規開発及び既存ビルのバリューアップを主な事業メニューとして、地域経済の活性化を目指した事業を展開しています。

PFI事業

民間の資金・経営能力を活用して公共施設等の建設・維持管理・運営等を行うPFI事業。当社が代表企業として組成した企業グループは、愛知県初のPFI事業(愛知県森林公園ゴルフ場施設整備等事業)の事業者を選定され、地域文化の新たな活性化を担うべく、愛知県森林公園ゴルフ場を運営しています。

営業の概況

営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初は堅調な企業収益に支えられ穏やかな回復基調で推移しました。しかしながら年度後半は、米国のサブプライムローン問題、原油価格や原材料価格の高騰を背景として企業の景況感が急速に悪化し、減速基調が続きました。

不動産業界におきましては、建築基準法の改正による建築審査の厳格化、都心部地価の上昇、建材等の高騰を原因とし、当事業年度における全国の新設住宅着工戸数は、前年度を大きく下回る結果となりました。当グループと関係の深い名古屋圏も減少へと転じ、当グループを取り巻く環境は厳しいものでありました。

このような状況下、当グループは、用地仕入、商品企画および販売の強化を図るとともに、コストダウンを通じて収益力の向上に取り組んでまいりました。主力事業であります住宅事業は、当初目標としておりました販売戸数には至らなかったものの、名古屋地域を中心とした一次取得者層の旺盛な需要に支えられ、販売戸数および売上高とも前年度を上回る実績を残すことができました。一方で、注文住宅事業の営業拠点としていた八事モデルハウス(名古屋市)を閉鎖するとともに、建築ノウハウのコンサルティングを付加価値とした建材・家具の卸売を行っていた子会社株式会社FOREST NOTEを当社が吸収合併(略式合併)するなどして、住宅事業の一層の合理化・効率化を推し進めました。都市事業では、市場環境の変化を見極めながら物件の開発・販売を進め、計画どおり下半期に大型収益不動産を販売し、業績に大きく寄与することができました。

なお、本社ビルの施設老朽化が進んできたため、平成20年1月に本社を移転しました。これに伴う本社ビルの減損処理による特別損失を計上しました。

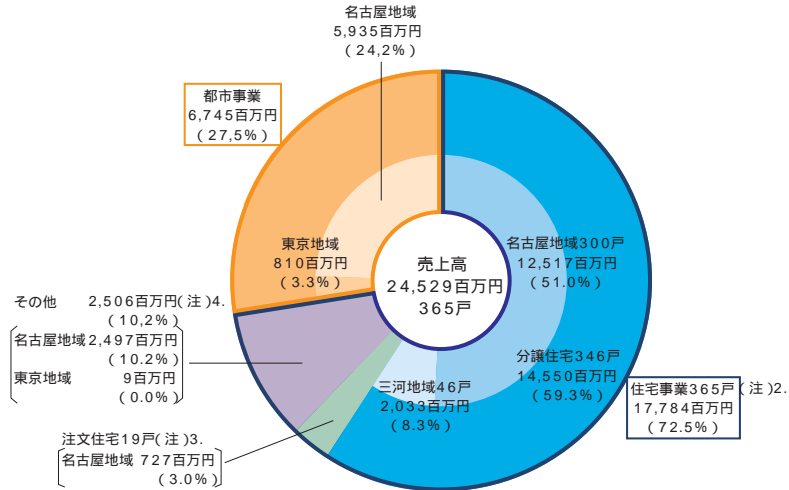
事業の種類別セグメントの業績を示すと、以下のとおりであります。

住宅事業	分譲住宅346戸(前年度比10.2%増)、注文住宅19戸(前年度比26.9%減)の販売に加えて、中古不動産の販売が順調に推移したこと等により、売上高は17,785百万円(前年度比10.3%増)、営業利益は1,097百万円(前年度比0.9%増)となりました。
都市事業	名古屋地域での分譲マンション9戸及び大型収益不動産、東京地域では商業施設1棟を販売したことに加え、ゴルフ場運営による収益が寄与し、売上高は6,750百万円(前年度比74.0%増)、営業利益は1,286百万円(前年度比182.4%増)となりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は24,529百万円(前年度比22.9%増)、営業利益は1,844百万円(前年度比60.3%増)、経常利益は1,480百万円(前年度比55.8%増)となり、当期純利益は713百万円(前年度比30.1%増)となりました。

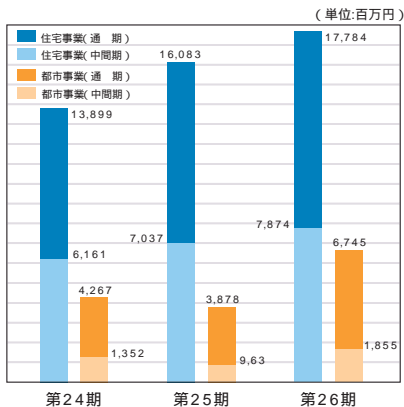
セグメント別業績の概況

セグメント別売上構成

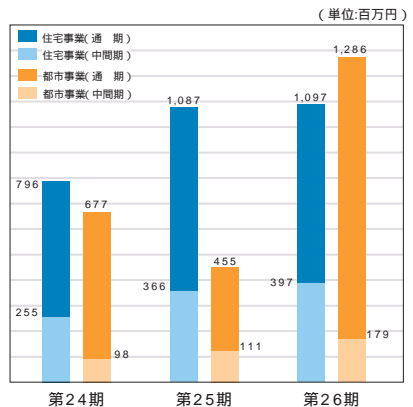


- (注)1. 金額は、それぞれ百万円未満を切り捨てて表示しております。
 (注)2. 住宅事業(名古屋地域)の金額には、中古不動産の販売分が含まれておりますが、数量には中古不動産の販売分が含まれておりません。
 (注)3. 住宅事業-注文住宅の金額には、追加工事分が含まれておりますが、数量には追加工事分が含まれておりません。
 (注)4. 住宅事業-その他には、土地のみの販売等が含まれます。

セグメント別売上高推移



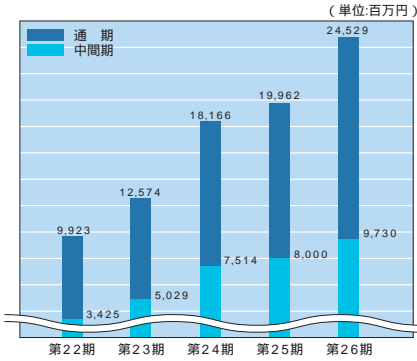
セグメント別営業利益推移



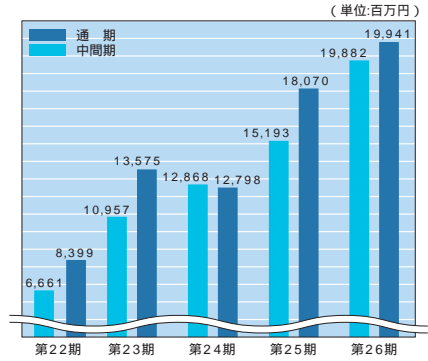
セグメント別売上高は、セグメント間の内部取引高の消去前で作成されています。

連結財務ハイライト

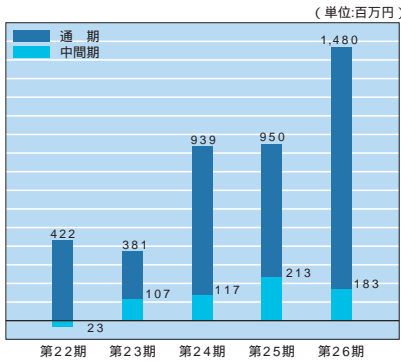
売上高



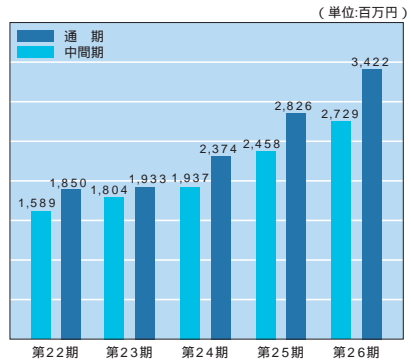
総資産



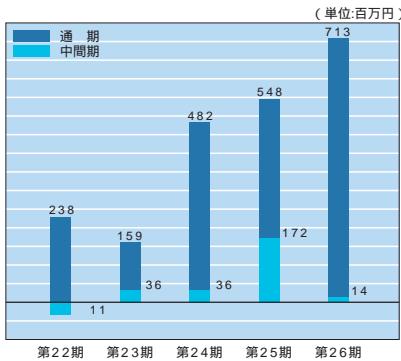
経常利益



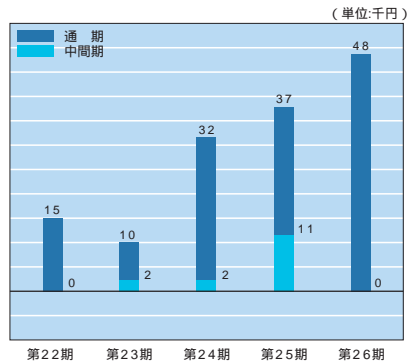
純資産



当期純利益



一株当たり当期純利益



当社は、平成18年6月1日をもって1対4の株式分割を実施しており、第24期以前の1株当たりの数値は当該期首に分割が行われていたと仮定した金額となっています。

連結決算の概要

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成20年5月31日現在)	前連結会計年度 (平成19年5月31日現在)
	金額	金額
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,804,627	656,295
完成工事未収入金及び売掛金	61,940	47,919
たな卸資産	13,154,460	12,785,475
その他	346,223	667,100
流動資産合計	16,367,252	14,156,789
固定資産		
有形固定資産	3,103,236	3,432,291
無形固定資産	138,740	168,708
投資その他の資産	332,319	312,992
固定資産合計	3,574,297	3,913,992
資産合計	19,941,549	18,070,782
負債の部		
流動負債		
工事未払金及び買掛金	1,053,877	1,577,606
1年内償還予定社債	28,000	220,000
短期借入金	6,938,315	8,589,951
1年内返済予定長期借入金	1,082,684	405,655
未払法人税等	418,897	404,064
完成工事補償引当金	75,700	65,500
その他	690,969	505,913
流動負債合計	10,288,444	11,768,692
固定負債		
社債	272,000	-
長期借入金	5,339,429	3,009,744
その他	619,359	466,219
固定負債合計	6,230,789	3,475,963
負債合計	16,519,233	15,244,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495
利益剰余金	2,835,924	2,211,427
株主資本合計	3,384,544	2,760,047
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,771	66,079
少数株主持分	-	-
純資産合計	3,422,315	2,826,127
負債・純資産合計	19,941,549	18,070,782

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (自平成19年6月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年6月1日 至平成19年5月31日)
	金額	金額
売上高	24,529,813	19,962,303
売上原価	20,553,369	17,018,223
売上総利益	3,976,443	2,944,079
販売費及び一般管理費	2,131,969	1,793,306
給与手当	561,079	464,760
販売手数料	318,724	245,405
広告宣伝費	330,154	348,653
完成工事補償引当金繰入額	55,822	46,644
その他	866,189	687,842
営業利益	1,844,474	1,150,773
営業外収益	26,969	19,988
受取利息	1,045	463
受取配当金	1,252	1,028
受取手数料	13,673	10,062
その他	10,997	8,434
営業外費用	391,058	220,728
支払利息	335,242	201,676
その他	55,816	19,052
経常利益	1,480,385	950,033
特別損失	340,676	16,554
固定資産除却損	19,654	16,554
減損損失	192,645	-
その他の特別損失	128,376	-
税金等調整前当期純利益	1,139,709	933,479
法人税、住民税及び事業税	423,096	432,099
法人税等調整額	3,315	46,360
少数株主損失	-	495
当期純利益	713,296	548,234

連結対象子会社（5社）

会社名	資本金	当社の 議決権比率	主な事業内容
株式会社 Design & Construction	90百万円	100%	中古不動産の 加工・販売
森林公園 ゴルフ場運営 株式会社	10百万円	70%	森林公園の 設計・建設・運営業務
株式会社 リアルウッド マーケティング	10百万円	100%	不動産の仲介・ 売買業務
株式会社 フジ商会	10百万円	100%	ビルメンテナンス・ マンション管理業務
株式会社 住空間研究所	10百万円	100%	建築物の企画・設計

平成20年5月1日を効力発生日として、株式会社FOREST NOTEを当社が吸収合併(略合併)しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自平成19年6月1日 至平成20年5月31日)	前連結会計年度 (自平成18年6月1日 至平成19年5月31日)
	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,330,863	3,587,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	524,501	1,103,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,341,969	3,387,774
現金及び現金同等物の増減額	2,148,331	803,901
現金及び現金同等物の期首残高	656,295	1,460,196
現金及び現金同等物の期末残高	2,804,627	656,295

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成19年6月1日 至平成20年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		少数株主持分
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年5月31日残高	279,125	269,495	2,211,427	2,760,047	66,079	66,079	-
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当	-	-	88,800	88,800	-	-	-
当期純利益	-	-	713,296	713,296	-	-	-
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	28,308	28,308	-
連結会計年度中の変動額合計	-	-	624,496	624,496	28,308	28,308	-
平成20年5月31日残高	279,125	269,495	2,835,924	3,384,544	37,771	37,771	-

前連結会計年度(自平成18年6月1日 至平成19年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		少数株主持分
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年5月31日残高	279,125	269,495	1,751,992	2,300,612	73,584	73,584	495
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当	-	-	88,800	88,800	-	-	-
当期純利益	-	-	548,234	548,234	-	-	-
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	7,504	7,504	495
連結会計年度中の変動額合計	-	-	459,434	459,434	7,504	7,504	495
平成19年5月31日残高	279,125	269,495	2,211,427	2,760,047	66,079	66,079	-

個別決算の概要

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当事業年度 (平成20年5月31日現在)	前事業年度 (平成19年5月31日現在)
	金額	金額
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,292,990	508,481
完成工事未収入金	9,765	12,627
売掛金	2,752	1,224
たな卸資産	12,314,193	11,998,008
その他	287,687	506,830
流動資産合計	14,907,390	13,027,172
固定資産		
有形固定資産	1,414,353	1,725,401
無形固定資産	35,371	39,651
投資その他の資産	875,700	853,041
固定資産合計	2,325,425	2,618,094
資産合計	17,232,816	15,645,266
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,003,290	1,085,397
買掛金	20,176	14,639
1年内償還予定社債	28,000	220,000
短期借入金	6,000,885	7,802,450
1年内返済予定長期借入金	976,018	355,656
未払法人税等	400,169	357,445
未成工事受入金	190,562	142,536
完成工事補償引当金	73,900	63,900
その他	378,309	244,262
流動負債合計	9,071,311	10,286,288
固定負債		
社債	272,000	-
長期借入金	3,926,096	2,059,744
その他	663,397	453,281
固定負債合計	4,861,493	2,513,025
負債合計	13,932,804	12,799,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495
利益剰余金		
利益準備金	69,781	69,781
別途積立金	1,170,000	1,170,000
繰越利益剰余金	1,473,839	991,472
株主資本合計	3,262,240	2,779,873
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,771	66,079
純資産合計	3,300,011	2,845,953
負債・純資産合計	17,232,816	15,645,266

損益計算書

(単位：千円)

科目	当事業年度 (自平成19年6月1日 至平成20年5月31日)	前事業年度 (自平成18年6月1日 至平成19年5月31日)
	金額	金額
売上高	21,029,490	18,707,202
売上原価	17,616,429	15,961,703
売上総利益	3,413,061	2,745,499
販売費及び一般管理費	1,834,712	1,653,872
給与手当	412,995	332,654
販売手数料	395,240	406,359
広告宣伝費	306,038	325,816
完成工事補償引当金繰入額	54,593	44,960
その他	665,844	544,081
営業利益	1,578,348	1,091,627
営業外収益	83,723	47,092
受取利息	31,250	31,120
受取配当金	2,962	1,028
受取手数料	20,189	6,771
その他	29,321	8,171
営業外費用	327,442	186,025
支払利息	280,606	182,513
その他	46,835	3,512
経常利益	1,334,630	952,693
特別利益	3,850	-
固定資産売却益	3,850	-
特別損失	374,352	120,554
貸倒引当金繰入額	2,000	120,000
固定資産除却損	19,122	554
減損損失	192,645	-
その他	160,584	-
税引前当期純利益	964,127	832,139
法人税、住民税及び事業税	392,118	380,466
法人税等調整額	841	33,691
当期純利益	571,166	485,364

株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成 19年 6月 1日 至 平成 20年 5月 31日)

(単位: 千円)

	株主資本							評価・換算差額等		
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金				利益剰余金 合計
平成19年5月31日残高	279,125	269,495	269,495	69,781	1,170,000	991,472	2,231,253	2,779,873	66,079	66,079
事業年度中の変動額										
新株の発行	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	88,800	88,800	88,800	-	-
当期純利益	-	-	-	-	-	571,166	571,166	571,166	-	-
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	28,308	28,308
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	482,366	482,366	482,366	28,308	28,308
平成20年5月31日残高	279,125	269,495	269,495	69,781	1,170,000	1,473,839	2,713,620	3,262,240	37,771	37,771

前事業年度(自 平成 18年 6月 1日 至 平成 19年 5月 31日)

(単位: 千円)

	株主資本							評価・換算差額等		
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金				利益剰余金 合計
平成18年5月31日残高	279,125	269,495	269,495	69,781	1,170,000	594,907	1,834,689	2,383,309	73,584	73,584
事業年度中の変動額										
新株の発行	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	88,800	88,800	88,800	-	-
当期純利益	-	-	-	-	-	485,364	485,364	485,364	-	-
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	7,504	7,504
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	396,564	396,564	396,564	7,504	7,504
平成19年5月31日残高	279,125	269,495	269,495	69,781	1,170,000	991,472	2,231,253	2,779,873	66,079	66,079

配当政策

当グループは、株主尊重の意義の重要性を念頭に、株主への利益還元を経営の最重要課題のひとつと捉えております。

業績の動向や経営環境等を総合的に勘案し、将来の事業展開に備えて財務体質の強化のため必要な内部留保と株主の皆様への期待にお応えできるようなバランスの取れた還元や配当性向を基準とした配当政策を実施していく方針であります。

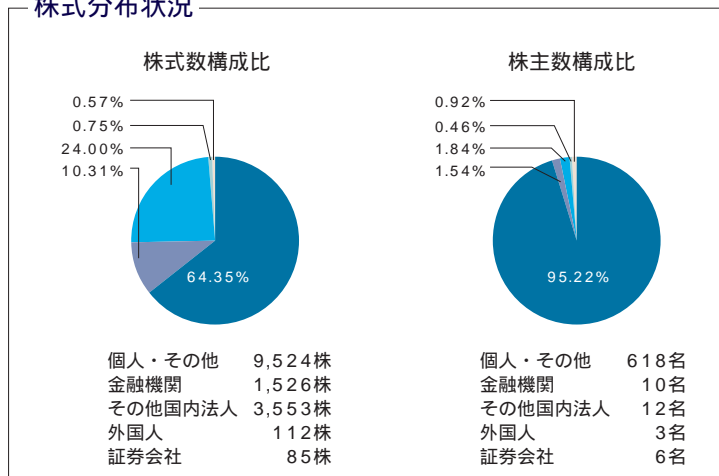
株式の状況

会社が発行する株式の総数..... 48,000株
 発行済株式の総数..... 14,800株
 株主数..... 649名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
前田和彦	4,256	28.75
ベストフレンズ有限会社	2,210	14.93
東邦レオ株式会社	1,200	8.10
前田扶美子	730	4.93
橘俊夫	589	3.97
松岡明	480	3.24
柴田芳	400	2.70
株式会社みずほ銀行	360	2.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	360	2.43
株式会社りそな銀行	240	1.62
株式会社十六銀行	240	1.62
株式会社愛知銀行	160	1.08

株式分布状況



会社の概要

商号 株式会社ウッドフレンズ
設立 昭和57年11月26日
資本金 279,125,000円
社員数 79名
本社 〒461-0004
名古屋市東区葵三丁目22番8号
ニューザックビルディング4F
TEL 052-937-0192(代表)
FAX 052-937-0392

主要な事業所 東京オフィス
東京都渋谷区神宮前二丁目6番10号
パークレーン3F

モデルハウス「生成りの家」
愛知県大府市吉田町正右工門新田41番49号
(健康木の住まいウッドビレッジ内)

関連会社 株式会社Design & Construction 森林公園ゴルフ場運営株式会社
株式会社リアルウッドマーケティング 株式会社フジ商会
株式会社住空間研究所

役員構成 代表取締役 前田 和彦
(平成20年8月28日現在) (兼 森林公園ゴルフ場運営株式会社代表取締役)

取締役 兼執行役員 笹原 利明
(兼 株式会社Design&Construction代表取締役)

取締役 兼執行役員 松浦 和雄

取締役 小宮山 享

執行役員 佐藤 昭彦

執行役員 良川 公男

執行役員 大竹 康明

常勤監査役 井尾 雅彦

監査役 松本 哲男

株式会社リアルウッドマーケティング
代表取締役 矢住 太郎

株式会社フジ商会
代表取締役 堀口 弘

株式会社住空間研究所
代表取締役 柴田 芳

取引銀行 愛知銀行 いちい信用金庫
大垣共立銀行 関西アーバン銀行
岐阜銀行 静岡銀行 十六銀行
商工組合中央金庫 瀬戸信用金庫
中央三井信託銀行 東濃信用金庫
豊田信用金庫 名古屋銀行
百五銀行 北陸銀行 三重銀行
みずほ銀行 三井住友銀行
三菱東京UFJ銀行 山口銀行
りそな銀行 (五十音順)

事業許可番号 特定建設業
愛知県知事許可(特-18)第40178号
宅地建物取引業
国土交通大臣免許(2)第6013号
一級建築士事務所
愛知県知事登録(い)第5644号

株主メモ

事業年度 6月1日から翌年5月31日まで

期末配当基準日 5月31日

なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
11月30日といたします。

定時株主総会 8月

株主確定基準日 5月31日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告方法 電子公告

ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由
が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告のホームページアドレス
<http://www.woodfriends.co.jp/ir/index.html>

会計監査人 あずさ監査法人

株式名義書換

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社

事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
電話0120-78-2031(フリーダイヤル)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

貸借対照表および損益計算書
掲載のホームページアドレス <http://www.woodfriends.co.jp/ir/kessan.html>

(お知らせ)

住所変更、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、
下記の株主名簿管理人の中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホーム
ページをご利用下さい。

フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)

ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株式会社 **ウッドフレンズ**

本 社 名古屋市東区葵三丁目22番8号
ニューザックビルディング4F

TEL (052) 937-0192(代表)

URL <http://www.woodfriends.co.jp>